Ａ～Ｄグループ

『病院・施設での転倒予防活動への貢献』

あなたが勤務するＭ病院では，医療安全委員会が定期的に開催されており，医療事故やヒヤリハットへの対策が検討されています。

先月の委員会にて，今年転倒転落のヒヤリハット件数が増加しているため，早急に対応策を立てることが決定しました。

さあ，あなたは転倒予防指導士として，どのような行動を起こしますか？

考えられる具体的な行動をグループ全員で出し合い，まとめてください。

インシデント分析からの情報
（把握するべきこと）

- 入院前の状況
  （転倒歴．ADL．生活の状況）
- 患者の状態
  （入院後 ADL．歩行など）
- （栄養．内服）
  （疾患）（アセスメントスコア）
  （認知機能）
- 転倒の様子・状況
  （時間．環境．内容）
  （病院側の体制）

Aグループ①

転倒予防方法として行う対策

- 環境のラウンド
  病棟へのアドバイス
  （行動の仕方）
  （病棟の良い取り組みの承認）
- 入院時の転倒についての説明
  注意 ― 本人．家族
  （できれば入院前から）
- 入院前と入院時のアセスメントができるツールの作成・フローの作成
- 患者への関わり
  昼間覚醒を促すこと
  集まっての体操．生活リズムをつける

Aグループ②

対策 ←まずは情報収集

①多職種チームの
W.Gを作る

↓

②多職種チーム発足

↓

③院内ラウンド

↓

④環境面：ベッド周囲整頓
センサー類の適正
着脱

Bグループ①

⑤客観的評価：FIM
SIDE

「チームBでした」

Bグループ②

Cグループ

○分析○

病院
インシデントの分析、傾向
年、場所など…
↓
対策につなげる

アセスメントシートは有効か？
○スコアのつけ方、患者と家族と共に
（入院時）
シートを見せながら共有
↓
患者・家族がリスクを自覚する。
○リスクを把握

どこで転んだか？（リ貴う向き）
場所の把握

Cグループ①

Cグループ

○対策○

・本人への説明
・家族への説明
・スタッフ間での共有

・はきもの
・ヒッププロテクター

ハード面
○ベッドの位置、柵の数など
環境調整
○設備改修

・多職種でアドバイス
セラピスト、薬剤師など

通所リハ
情報の共有（スタッフへ）
↑ 注意換キ
転びやすい人の

カンファレンス、多職種で
KYT ベッドサイドにリテって
危険を予測。
患者に合ったベッドの向きや
床頭台の向きなど 環境調整

リスクの共有
・病室ベッドサイドにポスターをはっている
・リストバンドにシールをはっている

予防体操
レクリエーション
見守り、声がけを意識している

転倒くり返す人
病棟から相談があった人
（カンファレンスの対象）

Cグループ②

Cグループ

転倒予防指導士として

分析結果をまとめて、

対策を実行できるよう、

患者、家族、スタッフ

病院全体へ働きかける

指導士として

- 見守る
- 院内部署での活動
- 医師へ薬剤の相談

- どんな行動の時に転倒するか、分析（ハード面）

現状把握

D

ヒアリ・ハットを生じた患者の情報収集をする（カルテを見る、会う）

内服薬の調査 → 減薬を外へ

自発自眠導の内服状況を調べる

ヒアリ・ハットを発見したスタッフに話を聞く

患者さんに状況転倒　確認する

ヒアリ・ハットを生じた患者に対して再度アセスメントスコアを取る

・部署のリスクマネージャーと状況を共有する。

ヒアリ・ハットがあった場面を見に行く

ベッドサイドの環境を確認する。

Dグループ①

情報共有

「ヒヤリハット件数が増加している」現状を院内へ展開する
＜情報共有＞

類似事象をまとめて共有する→
＜注意喚起＞

転倒事例の共有を行なう。

1ヶ月間の~~共有~~情報を共有する

現状把握
どのようなインシデントがあるのか

Dグループ②

要因解析

転倒事例の
分析を詳細に
行う

ヒヤリハットの
要因分析

インシデント-アクシデント
の分析

・転倒状況を
確認（評価）する。
（傾向など）

・転倒事例の
分析を行なう。
（多職種で）

Dグループ③

対策①
環境

転倒予防のための
補助具の使用状
況をチェックする

・転倒予防器具の
使用状況を
確認（指導）する。

Dグループ④

対策②

多職種共働

- 多職種カンファレンス
  強化週間（月間）
  ＜イベント開催＞

- 予防策について
  スタッフと一緒に
  カンファレンスする。
  （多職種で）

今月の
具体的な
目標数を
~~決せる~~
出す。

看護計画
の
見直し

・アセスメントスコアシート
による転倒リスク者の
対策が立てられているか。

多剤服用の患者
さんをリストアップする

JSFP

対策③

指導・教育

患者向け

患者指導
又は、方法の検討

転倒しそうな人に
予防の説明をする

スタッフ向け

病棟ルールに
転倒予防のための
根拠を説明する

- 転倒予防についての
  教育・研修をする。

ヒヤリ・ハットが生じた
場所で、医療安全委員
内でシュミレーションを
行う

KYT
のファシリテート

環境調整
指導

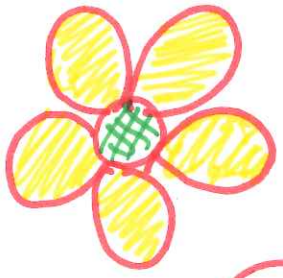
評価

ラウンドの実施

・対策が守られているか

ラウンドをする
環境

・部署をラウンドし、
対策の評価をする。



PDCAをまわす